

伊豆沼探鳥会に参加して

中村涼子 (清瀬市)

月天心冬雁を見る旅にたつ
 月天心バス北を指す冬の旅
 満天の冬星に着く雁の里
 冬の雁沼にねむれる里につく
 暁闇に翔つ身じろぎや千の雁
 数千の雁の翔つときわれも翔つ
 ふり仰ぐ雁行やさしき声新し
 鳴き声も雁と白鳥それぞれに
 ひしくいもゐて少しずつ沼暁けぬ
 鷹よぎる野にちらばりて鷹仰ぐ
 鷹舞ふやみちのくの野は静まりて
 よぎる鷹追える鳥と共に舞ふ
 一望の野に点となる鷹一つ
 プロミナーにのすり捕えし小春かな
 山の端に猛りて遠し冬の鴟
 畦ひばり畦を行くときあがりけり
 プロミナーに雁ひきよせぬ観察館
 笹鳴や午後は冷えきし沼の風
 芦切りのたちて芦原しずまれり
 鴨の群れに小さく可憐かいつぶり
 ありとのみ聞きしかりがね沼ぬくし
 雁の竿冬の落暉をよぎるあり
 夜は夜で雁の話や冬の宿
 冬の雁沼にねむれる宿に泊つ
 雁の音に夢さめ夢にまた鳴けり
 みちのくの冬雁に來し二夕夜かな



カルガモの雌雄

三田長久 (狭山市)

10月28日午前10時頃、狭山湖にてカルガモの交尾を見る。前回(10月9日)見たときには気が付かなかったが、♀の方が三列風切りの白い部分の幅が明らかに広がった。たまたまこの♀が部分白化なのかとも思ったが、群れを観察すると、ちらほらと三列風切りの白い部分が広い個体がいるので、雌雄識別ポイントにできるのではないかと思った。しかしである、日本鳥類保護連盟発行の「カモの見分け方」という小冊子を見たところ、カルガモの項に次の記載があった。「雌雄同色だが、雌は体がやや小さめで色もやや薄目、三列風切羽にある白斑も雄より細い。」白斑に関して私の観察結果と正反対のことが書いてあるではないか。ぜひ会員諸賢の御意見を賜りたい。

あけましておめでとうございます



旧年中はお世話になりました。
 本年もどうぞよろしくお願ひいたします。
 平成二年元旦



寺尾一之



町田好一郎 (本庄市)